

棚田に開く笑顔の傘 美作



子どもたちの笑顔が並んだ棚田(美作市上山で)

大規模災害に遭いながらも懸命に生きる子どもたちの笑顔の写真をプリントした傘を一齐に開くイベント「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が7日、美作市上山の棚田で開かれた。アートディレクターの水

谷孝次さん(59)(東京都)が、神戸市や中国・四川省などで撮影した写真。上山地区の棚田再生に取り組む「英田上山棚田団」(大阪市)のメンバーや地元住民らが一列に並び、約60本の傘を広げた。

棚田団は、担い手不足などから荒廃が進む棚田を再生しようと、2007年8月に県内外の会社員らで結成。週末などに訪れ、住民と協力して草刈りなどをしている。メンバーの備前市吉永町三股、井筒木綿子さん(26)は「子どもたちが集まり、笑顔があふれる棚田になってほしい」と言い、水谷さんは「子どもたちの笑顔は未来への希望。多くの笑顔が並んだことで棚田の未来も開けるのでは」と話していた。